

学力テストで測れない

# 「非認知能力」の育成！

河辺小学校  
勝間田小学校で  
取組スタート！

子どもたちの更なる  
成長に向けて！

管内小学校で「非認知能力」の育成を目指した取組がスタートしています。  
今回は岡山大学の中山准教授に「非認知能力」についてお話を聞きました。

## Q1「非認知能力」って何ですか。

「非認知能力」 自制心、忍耐力、意欲、向上心、協調性  
コミュニケーション力等の**点数化が困難な傾向にある能力**

↑↓

「認知能力」 テスト等で点数化可能な能力

## Q2今、なぜ注目されているのですか。

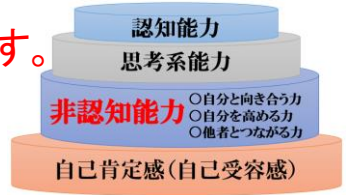
1. これからは「正解が一つではない課題の答え（納得解）を見いだし続ける力」が必要です。

今回のコロナ禍が象徴するように、先の見えない時代を生きていく上で、「一つの正解」ではなく、自分と他者、さらには社会の「納得解」を見いだし続けることが強く求められるようになってきました。そして、状況が変われば「納得解」はその都度修正していく必要があります。その「納得解」の修正を諦めず、意欲的に、仲間と共に見いだし続けていける力が今必要ではないでしょうか。それこそが非認知能力です！



中山一  
岡山大学全学教育・  
学生支援機構  
准教授

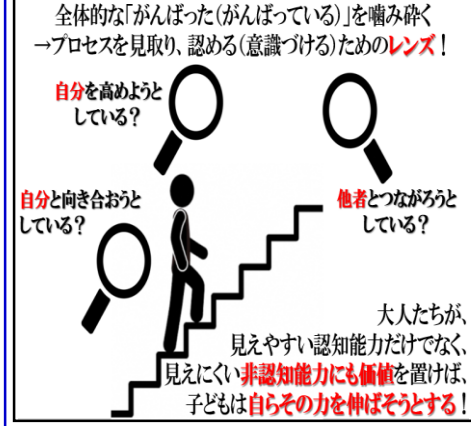
2. 認知能力等の土台となります。  
「非認知能力が伸びると、認知能力にも影響を与える」とされています。



## Q3「何を」「どのように」育成しますか。

1. 非認知能力を「3つの力に整理」する。
  - (1) **自分と向き合う力**  
「自制心」「忍耐力」等、今の自分を維持するために必要な力。
  - (2) **自分を高める力**  
「意欲」「向上心」等、これからの自分を高めるために必要な力。
  - (3) **他者とつながる力**  
「協調性」「コミュニケーション力」等、他者と協働するために必要な力。

### 2. 「非認知レンズ」を持つ。



### 3. 適切なフィードバックを行う。



子どもの言動を「当たり前」とせず、その価値を見取ることが重要です。生徒指導でも大切な視点です！

